

『砂川市立砂川学園現地調査』を実施しました

令和8年4月3日（金）午前10時から、総務文教委員会と社会経済委員会が合同で砂川学園の現地調査を行いました。

1階・2階・3階のフロアには、それぞれ1stステージ（1～4年生）、2ndステージ（5～7年生）、3rdステージ（8～9年生）の教室が配置されています。各階の天井までの高さ、トイレの仕切り、教室の出入り口の形状、壁面の色などは児童・生徒の成長に応じて変えられており、細やかな配慮がなされていました。

廊下に机が配置されている箇所もあり、教室とは違った環境での授業が可能となっていたり、リラックスできるような空間があったりと、廊下が「通路」以上の機能を有していました。1階フロアの100m以上に及ぶ長い廊下の壁面には本棚が設置されており、「ブックストリート」と名付けられています。いわゆる図書館の機能を果たしているとのことでした。

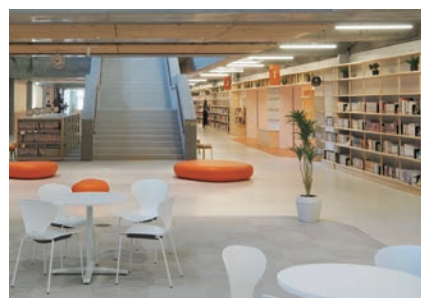
バスケットボールコート2面の広さを持つメインアリーナに加え、6人制バレーボールコート1面の広さがあるサブアリーナなど、体育施設も非常に充実しています。

個人面談等に使用する部屋も随所に設けられており、児童・生徒個々の成長に寄り添う教育が可能な機能を有しています。

吹き抜けによってとても明るく開放的な印象を受け、アート作品やカウンタースペースなどによって「学び」の場とともに「くつろぎ」の場としての機能も備えていました。

注目すべき点がほかにも数多くあります。機会があれば、見学されることを強くお勧めいたします。

新しい時代の教育理念に沿って建設された砂川学園で展開される教育が、児童・生徒に浸透していくのがとても楽しみです。



あ と が き

春の到来です。昨年春の「まちなか交流施設 すないる」のオープンに続いて、今年の春はいよいよ「砂川市立 砂川学園」の開校です。平成30年度から今日まで、多くの皆様のご尽力によって実現したプロジェクトです。教育のシステム、まちのコミュニティに大きな変化をもたらすことと思います。砂川市がますます住みよい街になっていく期待が膨らむ春でした。（鈴木）

議会広報編集委員会

委員長 鈴木 伸之 副委員長 高田 浩子 委員 武田 真 委員 山下 克己